

平成 27 年度の主な県事業(新規・重点等)の取組状況

新…H27 新規事業、**拡**…H27 拡充事業

I 高齢者の健康・生きがいつくり

1 健康寿命を延ばすための若いときからの健康づくり

(1) 望ましい生活習慣の確立の推進

＜運動習慣の定着＞

- ① 県民歩こう運動推進事業（県内 2ヶ所） 【知政】
- ・ H27 予算額 3,031 千円
 - ・ H27 実績 2回 参加者 1,250 人
- ② 元気とやまウォークラリー（県内 2ヶ所） 【知政】
- ・ H27 予算額 1,500 千円
 - ・ H27 実績 2回 参加者 1,550 人

＜望ましい食生活への改善＞

①健康づくり食生活改善推進事業【健康】

健康づくりの知識の普及啓発のため地域のリーダーを育成支援
県民の自発的な健康づくりの推進

- ・ H27 予算額 225 千円
- ・ H27 実績 健康づくり食生活指導者育成講習会（2回）
健康づくり食生活改善実践講習会（約 100 回）

②三世代ふれあいクッキングセミナー【健康】

食を通じた 3 世代のふれあい交流と各年代の健康づくりの推進

- ・ H27 予算額 800 千円【国 1/2, 県 1/2】
- ・ H27 実績 約 100 回

＜歯・口腔の健康＞

①歯科口腔保健支援対策事業【健康】

医科、歯科連携の推進、要介護者等への在宅歯科診療の推進など

- ・ H27 予算額 9,100 千円
- ・ H27 実績 在宅歯科医療支援ステーション設置への支援

(2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、がん対策の推進【健康】

①がん相談支援センター設置事業

治療のほか、介護、就労等の幅広い相談に対応できる総合相談窓口を富山県総合福祉会館（サンシップ）に設置(H25.9.2)

- ・ H27 予算額 15,401 千円
- ・ H27 実績 相談件数 888 件（H28.2 現在）

②がんのピアサポート（がん経験者による相談支援）推進のための研修の実施

- ・ H27 予算額 1,200 千円
- ・ H27 実績 ピアサポーター養成 20 名（うち 17 名修了）

2 エイジレス社会（生涯現役社会）への取組みの推進

①エイジレス社会活動推進事業【高齢】

「65歳以上は老人」意識の転換のための普及啓発等

- ・H27 県予算額：6,300 千円
- ・エイジレス社会づくり県民大会の開催〔H27 実績 H27.11.10 県民会館 参加者約 1,000 人〕
- ・エイジレス社会活動推進顕彰〔個人 8 人、団体 3 団体〕
- ・高齢者が活躍するエイジレス人材の育成活動促進事業（人材育成の講座の開催等）

②とやまシニア専門人材バンク事業【労雇】

就労を希望する専門的知識・技能等を有する高齢者を登録する人材バンクを設置し、高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援（H24.10.1 開設）

- ・H27 県予算額：18,777 千円
- ・場 所：とやま自遊館 2 階
- ・開所時間：平日 9 時～17 時
- ・登録状況（H28.1 月末現在）：求職者 1,825 人、求人企業 922 社、
求職者のうちバンク開設以降の就職者 1,188 人

③老人クラブ訪問支援活動支援事業【高齢】

老人クラブによる独居老人等への訪問支援活動を助成

- ・H27 県予算額：6,475 千円
- ・H27 実施状況：訪問活動を行うリーダー養成研修修了者 203 名

II 介護サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築

1 在宅と施設のバランスのとれた介護サービスの充実

（1）富山型デイサービス（地域共生ホーム）の推進【厚企】

高齢者、障害者、児童等が障害の有無や年齢にかかわらず、誰もが住み慣れた地域において、デイサービスなどの多様な福祉サービスを受けられる富山型デイサービス事業所の整備等に対し支援

- ・富山型デイサービス事業所数（H28.2 月） 118 事業所

①富山型デイサービス施設支援事業

新築、改修による富山型デイサービスの整備等への補助等

新築による整備：基準額 12,000 千円 【県 1 / 3、市町村 1 / 3】

改修による整備：基準額 6,000 千円 【県 1 / 3、市町村 1 / 3】

改修による機能向上：基準額 6,000 千円 【県 1 / 3、市町村 1 / 3】

- ・H27 県予算額 39,600 千円
- ・H27 実績 交付決定数 8 件

②富山型デイサービス起業家育成講座

富山型デイサービスの起業家を育成するための研修会を開催

- ・H27 県予算額 600 千円

- ・ H27 実績 全 5 回 受講者 37 人

(2) 地域密着型サービスの充実【高齢】

①新定期巡回・随時対応型訪問サービス普及支援事業費

- ・ H27 県予算額 1,000 千円

事業参入機運を高めるための事業者向けの職種別開設前研修会を開催

訪問介護と訪問看護のとの連携等に関する研修会を開催（5 回開催、受講者 80 人）

[参考]

定期巡回・随時対応型訪問サービスの指定状況

- ・ 6 事業所（H27.12 月末現在）

2 介護との連携による在宅医療の推進

①新富山県在宅医療センター設置事業【高齢】

在宅医療提供体制の安定的確保を図るため、県医師会館内に「富山県在宅医療支援センター」を開設し、在宅医療に取り組む医師の参入促進を図るほか、郡市医師会在宅医療支援センターとの連携、人材育成等に総合的に取り組む。

- ・ H27 県予算額：12,700 千円

②在宅医療支援センター支援事業【高齢】

各医療圏の郡市医師会が開業医グループ等の活動を支援するために設置する在宅医療支援センターの運営費を助成

- ・ 事業内容（例） 定例会議等の開催、グループ内の情報共有支援、管内開業医への在宅医療に関する情報提供、多職種研修会 等

- ・ H27 県予算額：24,000 千円（6,000 千円×4 医療圏）【地域医療再生基金】

- ・ H27 実施状況：設置数 10 ヶ所

医療圏	センター名	医師会
新川医療圏	新川地域在宅医療支援センター	下新川郡医師会・魚津市医師会
富山医療圏	富山市医師会在宅医療支援センター	富山市医師会
	滑川市医師会在宅医療支援センター	滑川市医師会
	中新川郡医師会在宅医療支援センター	中新川郡医師会
高岡医療圏	高岡市医師会在宅医療支援センター	高岡市医師会
	氷見市医師会在宅医療支援センター	氷見市医師会
	射水市在宅医療支援センター	射水市医師会
砺波医療圏	砺波在宅医療支援センター	砺波医師会
	小矢部市在宅医療支援センター	小矢部市医師会
	南砺市医師会在宅医療支援センター	南砺市医師会

③新多機能型訪問看護ステーション拠点施設整備事業【高齢】

訪問看護ステーションの規模拡大、機能強化に必要な施設・設備整備への補助

- ・ H27 県予算額：4,000 千円
- ・ H27 実施状況：1 か所

④新訪問看護ステーション相互支援実証事業【高齢】

訪問看護ステーションの相互支援体制構築に向けた検討・検証を行う。

- ・ H27 県予算額：766 千円

⑤訪問看護支援強化事業【高齢】

訪問看護サービスを安定的に供給し、在宅療養環境の充実を図るため、県看護協会の「訪問看護ネットワークセンター」において訪問看護の PR や相談対応等を実施。

- ・ H27 県予算額 5,000 千円
- ・ H26 実績
 - ア 訪問看護相談窓口の開設〔H26 実績 相談件数 695 件〕
 - 訪問看護の利用に関する相談（対象：利用者家族等）
 - 訪問看護の運営・開設の相談（対象：訪問看護事業者、開設希望者）
 - イ 訪問看護の PR
 - イベント等での相談会〔5 回〕
 - 医療機関での利用者向け相談会〔8 病院 25 回 相談人数 104 人〕
 - ウ 訪問看護ステーションの機能強化
 - 訪問看護師に対する技術支援、研修会開催等
 - エ 認定看護師養成支援（教育課程受講に係る経費への補助）〔受講者 1 人〕

⑥訪問看護ステーション設備整備事業【高齢】

訪問看護ステーションの新規開設に係る設備整備費用の補助

- ・ H27 県予算額：6,000 千円
- ・ H27 実施状況：3 か所（4,500 千円）

〔参考〕

- 訪問看護ステーションの指定状況（休止除く）
 - ・ 60 ステーション（H27.2.1 現在）

⑦在宅医療多職種連携体制促進事業【高齢】

市町村（地域包括支援センター）において、患者情報共有システム導入等を通じて、医療、介護の多職種による連携体制の整備を進める。

- ・ H27 県予算額：6,000 千円【地域医療再生基金】
- ・ H27 実施状況：実施数 3 市

⑧地域医療再生マイスター育成支援事業【医務】

在宅医療の体制充実が必要な市町村において、住民参加型地域包括ケアシステム推進のための「地域医療再生マイスター養成講座」を開催する。

- ・ H27 県予算額：18,000 千円【地域医療再生基金】
- ・ H27 実施状況：実施数 3 市 1 町

⑨医療系ショートステイ病床確保事業【高齢】

介護者の急病・急用時などで在宅療養者が緊急にショートステイが必要となる場合に備え、医療系ショートステイ用の病床を確保することにより、在宅で療養する高齢者等の安心の確保、在宅医療の推進を図る。

・H27 県予算額：16,800 千円（4,200 千円×4 医療機関（8床））【地域医療再生基金】

・H27 実施状況：設置数 4 医療機関（8床）（H28.1.1 現在）

桜井病院（黒部市／新川医療圏）

光ヶ丘病院（高岡市／高岡医療圏）

いま泉病院（富山市／富山医療圏）

あおい病院（砺波市／砺波医療圏）

利用率（H27.4月～12月） 39.6%

3 介護予防と生活支援サービスの充実

①介護予防推進対策事業【高齢】

介護予防におけるケアマネジメントやサービスの質を確保するため、市町村等介護予防担当職員研修等を実施

・H27 県予算額：7,878 千円

・H27 実施状況：地域包括支援センター職員研修 全3回 延べ受講者 207人

市町村職員等向けセミナー 全6回

介護予防・生活支援モデル事業（介護予防4保険者、生活支援3保険者）

4 認知症高齢者施策の推進

①認知症疾患医療センター運営費補助事業【高齢】

認知症高齢者に切れ目なく支援を提供するため、医療機関同士や介護サービス事業者同士の連携、医療と介護の連携の拠点としての機能を備えた「認知症疾患医療センター」を設置

・専門医や臨床心理技術者、看護師、精神保健福祉士等の専門スタッフを備え、身体的一般検査、画像診断、神経心理学的検査等の総合的評価が可能な病院等を県が指定

・H27 県予算額：13,350 千円 【国 1/2、県 1/2＋一財上乘せ】

・H27 実施状況：3病院を指定

谷野呉山病院（富山市）、魚津緑ヶ丘病院（魚津市）

国立病院機構北陸病院（南砺市）

相談件数（H26 年度実績）

専門医療相談（電話・面接）1,583 件、鑑別診断 381 件

②新認知症早期発見・早期対応推進支援事業【高齢】

平成 26 年度に実施した認知症実態調査を踏まえ、認知症に早く気づき、早く相談につながるよう、チェックリストや相談窓口を掲載した普及啓発用パンフレットの作成や市町村等の連絡会議を開催。

- ・H27 県予算額：800 千円
- ・H27 実施状況：普及啓発用パンフレットの作成、市町村会議の実施

III 地域包括ケアシステムを支える体制づくり

1 保健・福祉の人材養成と資質向上

①新地域包括ケア普及啓発事業【高齢】5,700 千円

地域包括ケアシステムの構築を官民一体で推進するため、「富山県地域包括ケアシステム推進会議」（会長：知事）で採択した共同宣言の趣旨を踏まえ、次の取組みを実施

ア 地域包括ケア推進県民フォーラムの開催

地域包括ケアについて県民の理解を深めるとともに、地域包括ケアシステム構築の気運の醸成を図るため、広く県民を対象としたフォーラムを開催

- ・H27.12.23（水・祝） タワー111 スカイホール
- ・参加者 約 350 名
- ・内 容 地域包括ケア実践顕彰・エイジレス社会活動推進協議会顕彰の顕彰式
地域包括ケアシステムシンボルマークの除幕式
地域包括ケア活動実践団体登録証の交付式
顕彰受賞者による取組報告
シンポジウム「地域包括ケアを考えよう」（シンポジスト 5 名）
特別講演 綾戸智恵氏（ジャズシンガー）「母の介護体験を通して」

イ 地域包括ケアシステムシンボルマークの制作

地域包括ケアシステムの普及啓発のため、富山県のシンボルマークを作成（公募による 260 点の中から決定）。シンボルマークは、地域包括ケア活動実践団体の登録ステッカー、関連事業のチラシ等で使用



ウ 地域包括ケア活動実践団体の募集・登録・公表の開始

高齢者の日常生活を支援するボランティア団体や社会貢献活動の一環として高齢者への支援を行う事業者など、地域包括ケア活動を実践する団体を募集するもの。登録された団体は広く県民に周知し、それにより、登録団体への加入、新たな団体の創出、団体同士の連携等を促し、高齢者を地域で支える活動の拡大を図る。

- ・登録団体数 H28.3.22 現在:413
(内訳) 地区社協、老人クラブ、NPO、銀行、郵便局、生協、コンビニ、医療法人等

エ 地域包括ケア実践顕彰の創設

地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みを推進するため、「生活支援」、「介護予防」、「医療・介護連携」等の各分野で、地域での支え合い活動を積極的に実践されている団体を県民の模範として顕彰する制度を創設

- ・平成 27 年度受賞団体

団体名	活動分野
広田校下社会福祉協議会（富山市）	生活支援
特定非営利活動法人買物くらし応援団（高岡市）	
朝日丘校区社会福祉協議会（氷見市）	
相ノ木地区社会福祉協議会（上市町）	
船峯地区社会福祉協議会（富山市）	生活支援、介護予防
福野北部第四長寿会（南砺市）	
新川地域在宅医療療養連携協議会（黒部市）	医療・介護連携
小杉爆笑劇団（射水市）	その他

②新地域包括ケア市町村支援事業【高齢】5,800千円

地域包括ケアシステムの構築が円滑に、かつ、できるだけ地域間格差なく推進されるよう、地域包括ケアシステムの構築を行う市町村職員の資質向上を図る。

ア 市町村職員等セミナーの開催

地域包括ケアシステム構築に関わりの深いテーマについて、講義、事例発表、グループワーク等を通して、必要な知識や企画立案の手法を得る機会を提供

・H27 実施状況

全6回 受講者計 396名

第1回	地域包括ケアシステム構築に関する基本事項	H27.5.19	受講者 34名
第2回	高齢者の権利擁護	H27.7.30	受講者 44名
第3回	新しい総合事業の導入	H27.8.26	受講者 97名
第4回	在宅医療・介護の推進	H27.10.2	受講者 74名
第5回	認知症施策の推進	H28.1.21	受講者 89名
第6回	介護予防の推進	H28.3.9	受講者 58名

イ 生活支援コーディネーターの養成研修

地域の生活支援ニーズの把握や担い手の発掘等を行うために市町村が配置する「生活支援コーディネーター」の養成研修を実施

・H27 実施状況

全2回 修了者計 164名

第1回	H27.5.21、5.28	修了者 79名
第2回	H27.11.18、12.2	修了者 85名

ウ 生活支援・介護予防サービス基盤整備モデル事業

市町村において、生活支援・介護予防に関するモデル事業を実施し、モデル市町村による研究会や県との連絡会議を開催したほか、アドバイザーの派遣等を実施

・H27 実施状況

生活支援モデル事業（協議体や生活支援コーディネーターを配置）・・・魚津、射水、中新川
介護予防モデル事業（住民主体の通いの場づくり）・・・高岡、入善、砺波、黒部

エ 地域包括ケア推進支援事業

地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅医療・介護連携、介護予防及び認知症施策等が市町村の特性に応じて柔軟かつ積極的に推進されるよう、厚生センターが支援

・ H27 実施状況

在宅医療・介護連携の推進・・・退院支援のためのルールづくりなど、入退院時の情報共有の仕組みづくり

介護予防の推進・・・リハビリ専門職との連携・調整や住民運営の通いの場づくりへの支援等
認知症施策の推進・・・認知症ケアパスの作成・普及や認知症初期集中支援チーム設置に向けた支援等

③ **拡**元気とやま福祉人材確保応援プロジェクト事業【厚企】

・ H27 県予算額（現計）：74,500 千円

新新任介護職員ネットワーク形成支援事業

合同入職式 H27.6.1 開催（参加者 104 名）

フォローアップ研修

拡がんばる介護職員応援事業

介護職員表彰（26 名）

テレビCMの放映（8 月、11 月）、「介護の日」新聞広告掲載

④ **新**富山型デイサービス施設人材確保育成事業【厚企】

富山型デイサービスの職員に対し、高齢者、障害者、児童などの分野を横断した総合的な研修を実施するとともに、施設において雇成型訓練を実施し、地域共生福祉に資する介護人材を確保・育成する。

・ H27 県予算額：14,910 千円【国 10/10】

・ H27 実績：訓練受講者 6 施設（7 人）

⑤ 看護職員トライアル雇用（訪問看護）事業【高齢】

訪問看護の業務経験のない看護師を雇用し、指導者の動向による指導を行うとともに訪問看護師要請講習（県看護協会）を受講させ、必要な知識・技術を習得させる。

（1 事業所あたり 2,100 千円×5 事業所：雇用期間各 6 か月以内）

・ H27 県予算額：3,362 千円【地域医療再生基金】

・ H27 実施状況：1 施設（1 名）

⑥ 医療との連携による安全・安心な介護サービス充実研修事業【高齢】

介護職員によるたんの吸引等の実施のための研修

・ H27 県予算額：8,500 千円【地域医療介護総合確保基金】

・ 実績：受講者 H27 年度 85 人

⑦ ケアマネジャー医療介護連携研修事業【高齢】

主任ケアマネジャー及びケアマネジャーに対し、それぞれの役割に応じた在宅医療と介護の連携に関する専門研修を実施（訪問診療等への同行を含む）

- ・ H27 県予算額：3,000 千円
- ・ H27 実施状況：
 - 『主任ケアマネジャー医療介護連携研修』
 - H27.12.3～H28.2.16 実施、研修日数 5 日間、受講者 26 名、協力機関 病院 16 機関、診療所 11 機関
 - 『ケアマネジャー在宅医療研修（訪問看護編）』
 - H27.11.19～H28.1.7 実施、研修日数 3 日間、受講者 44 名、協力機関 28 機関
 - 『ケアマネジャー在宅医療研修（訪問リハビリテーション編）』
 - H27.12.2～H28.1.29 実施、研修日数 3 日間、受講者 26 名、協力機関 25 機関

⑧リハビリ専門職資質向上事業【医務】

リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士）を対象とした階層別研修の実施

- ・ H27 県予算額：1,000 千円【医療介護総合確保基金】
- ・ H27 実施状況：（一社）富山県理学療法士会に委託して実施

2 サービスや制度運営の質の向上

①ふれあいコミュニティ・ケアネット 21 事業【厚企】

一人暮らし高齢者や障害者などの地域の要支援者一人ひとりに、地域住民自らがチームを結成し、継続的な見守りや個別支援活動を実施

- ・ 実施主体：富山県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会
- ・ 実施地区等：H27/255 地区、3,247 チーム(H15/40 地区、245 チーム)
- ・ 構成員：隣人・友人、保健師・看護師、ホームヘルパー、老人クラブ会員、民生委員、ボランティア等 *市町村社協がコーディネート
- ・ 活動内容：見守り、安否確認、個別支援（話し相手、ゴミ出し、買物、除雪、外出付添 等）
- ・ 経費補助：地域福祉活動グループへの補助 @300 千円【県 1/3】等 H27 県予算額 31,600 千円
市町村社会福祉協議会への補助【県 1/2、市町村 1/2】H27 県予算額 31,750 千円
県社会福祉協議会への補助【県 2/3】H27 県予算額 3,350 千円